


※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 松本微生物研究所)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)【R6.11.7変更】

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・就労機会において差別のない体制を取っており、性別や年齢によらず、成果や能力に応じて昇進、昇給を行っている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・社内広報活動により、経営陣を含め、ハラスメントの防止に努めている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8											16.1
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・ワークライフバランスを尊重しており、残業が増えないように、生産性が向上するように取り組んでいる。										8.5 8.8										
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在外国人労働者が在籍していないが、差別なく、能力により評価していく。				4.4						8.7 8.8		10.2 10.3								
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社内広報活動により安全向上への意識を高め、随時作業現場の環境確認を行い、日々の作業における事故の防止に努めている。			3							8										
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・社内広報活動により、労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるよう、職場の理解を促進するように努めている。			3																	
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・性別等によらず、職務遂行能力によって評価している。					5.1 5.5					8.5		10.2 10.3								
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・自ら希望する研修を受講できる体制を整えている。 ・職務により、経営陣及び幹部から、研修を推奨し、参加を促している。				4	5.5					8	9									
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パート社員にも正社員と同条件での手当(子ども手当)を支給している。退職金共済にも加入させるなど、雇用形態による不平等を行わない取り組みを行っている。					5.5					8.5		10.2 10.3								
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・定期健康診断の結果に関して、再検査が必要な従業員への時間的配慮をするよう努めている。			3							8										
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・分別を徹底し、紙类等リサイクル可能な資源物は、回収業者に回収してもらっている。												11.6	12.4		14.1					
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・使用電力監視装置を事務所に設置し、過剰な電力消費が無いように、使用電力量を把握している。									7.3					13						
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・空調機更新の際、グリーン購入家電の活用をしている。LED蛍光灯へ順次変更している。									7.2 7.3				12.4	13.3						
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・管理者を置き、適正量の使用に努めている。			3.9			6.3						11.6	12.4							

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・会社理念に基づき、有機物や天然素材を可能な限り利用して、生態系に悪影響を及ぼさない製品の開発、製造、普及を行っている。						6.6							15				
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・工場の原料調達には必要最低限度とし、余剰資源を削減している。 ・文房具から機械設備まで、1日でも長く使用できるよう、日々のメンテナンスを欠かさず行っている。									12.5		14.1						
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4 6.6												
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7			12	13.3	14	15					
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ										12.6								
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・天然資源を過剰に必要としない作付けのための、農業資材を開発、製造、販売している。									12.2	13	14	15					
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社内広報活動において、汚職・贈収賄禁止の徹底を広報・教育している。														16 16.5			
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社内広報活動において、不正競争行為に関する情報を発信している。														16			
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・自社の知的財産を適切に管理、活用している。また、他社の知的財産を尊重して、取引や開発に当たっている。								8.2 8.3	9								
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・管理者を定め、社員の個人情報を適切に管理している。 ・社内広報活動により、社員の理解を深める為、個人情報保護に関する情報を発信している。															16		
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																16		
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・サプライヤー等との対話を重視し、良好な関係を維持すべく努めている。					5			8		10	12	13	14	15	16	17	
	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	・【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表する。			3					8	9	10						17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法は[こちら](https://www.biz-partnership.jp/)。https://www.biz-partnership.jp/

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
29	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品の安全性を確保するため、研究開発室における品質管理を徹底し、製造した製品の品質チェックを行っている。			3.9								12.4												
30	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・品質管理基準に基づき、品質チェックに合格した製品以外を流通させない体制を取っている。										9													
31	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・自然の摂理を重視し、サステナビリティに基づく製品の開発を理念としており、その理念に基づき行動している。						6						12	13	14	15								
32	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・肥料を使いすぎない作付けに対応する商品を開発、製造している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
33	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域農家のニーズを集め、その土壤に合う適切な資材の販売に努めている。				4					9	11	12			14	15							17	
34	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・業務に協力して頂ける社会福祉法人の活用。				4							11				14	15							17
35	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ									8	9		11	12	13										
36	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本	・経営理念を明文化している。									8	9													17
37	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守の重要性を、従業員に向けて広報している。																							16
38	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】CSR担当者の育成																							16
39	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・随時ステークホルダーとの対話を行い、課題の抽出及び対応を行っている。																						16	17
40	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																								16
41	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSR担当者の育成																							16
42	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・緊急時の社内連絡体制を整備している。									9		11			13	13.1							16	
43	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・専門家の協力のもと、事業承継計画書を作成した。									8	9													17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定